

みんなでつながる！ひろげる！地域のチカラ

# プラットふくし ニ う ち

高知県社会福祉協議会広報誌

福祉用具展示コーナーのすすめ

## 福 祉 用 具 見 て み た め し て !



### contents

特集「見てためして！福祉用具 福祉用具展示コーナーのすすめ」	2
ボランティア・NPO情報 てをつなGO！	6
こねくと高知   りぐらっぷ高知	
シニアのちょっといい話	8
チチナロの会   みんなでイキイキ麻雀	
プラットこうち人 中島匠一さん	10
高知県社協からのお知らせ	11
こうちの sweet なはなし	12
野いちごの場所   さんかく広場	

2025  
12月号  
vol.14

# きてみてためして! 福祉用具

## 福祉用具展示コーナーのすすめ

腕が上がりにくくて、思うように服を着ることができない。  
腰や膝が痛くて、前のように歩けない。病気をして以来、ちょっとした動作がしづらくなつた。

今回の「プラットふくし」では、毎日の暮らしの中でちょっとずつ増えていく  
さまざまな「困りごと」を細かくサポートしてくれる車椅子や歩行器、  
移動リフトなど1000点近い福祉用具を展示している  
《県立ふくし交流プラザ》内の福祉用具展示コーナーをご紹介します。

用途別に応じた歩行器もチェック!

コーナーではどの機種にも自由に乗ることができます

**歩行車と車いす**

## きてみてためして! 福祉用具

### 福祉用具展示コーナーのすすめ

腕が上がりにくくて、思うように服を着ることができない。

腰や膝が痛くて、前のように歩けない。病気をして以来、ちょっとした動作がしづらくなつた。

今回の「プラットふくし」では、毎日の暮らしの中でちょっとずつ増えていく

さまざまな「困りごと」を細かくサポートしてくれる車椅子や歩行器、

移動リフトなど1000点近い福祉用具を展示している

《県立ふくし交流プラザ》内の福祉用具展示コーナーをご紹介します。

**歩行車と車いす**

**歩行車**は、立ったまま体重を支えながら移動できる車輪付きの福祉用具。収納が付いていたり、買い物カゴなどを置くことができるようになっているものもあります。  
**車いす**は歩くことが困難であったり、長距離を移動する場合などに用いるもので、自分で操作する自走式や電動式のほか、介助者が操作する介助式などがあり、福祉用具展示コーナーでは体験も可能です(4ページ参照)。

**入浴関連器具**

水に濡れて滑りやすい浴室は危険がいっぱい。手摺りや椅子、滑り止めマットなどを組み合わせ、安全な入浴環境をつくることができます。

手元のコントローラーでさまざまな角度や形に変更できます!

移動用リフトと一体的に使える電動ベッドの展示も!

**電動ベッド**

リモコンひとつでベッドの高さや角度を自分好みに調整できる**電動ベッド**は、楽な姿勢で過ごすことができ、身体も起こしやすいのが特徴。介護したり生活を補助する人にとって使いやすい大きさや高さになっており、専用のマットレスなどを用いることでさらに快適に過ごすことができます。

福祉用具展示コーナーには、身体が不自由な子どものための部屋も。椅子に座りにくければクッション型の座位安定補助具を。寝ている時であれば、身体に負担をかけずにリラックスできるようなクッションを使うなど、快適な暮らしをするための仕掛けがいっぱいです。

**キッズの部屋**

試用をご希望の方には貸出も行っています。  
(企業などの研修目的での貸出も可能)

**自助具**

「自立した生活を助ける」という意味を持つ福祉用具が**自助具**。指先の動きが鈍くなった人でも使いやすい箸やスプーン、すくいやくすく持ちやすい形の皿やお碗、虫眼鏡の付いた爪切り、ボタン掛けをしてくれるフックなど、さまざまな暮らしの場面に応じたものがあります。

自助具を使って楽しく食べて元気モリモリに!

腰をかがめるのが大変な人向けのくつ下をはぐための道具も!

**介護靴と保護帽**

軽量で滑りにくいから歩きやすく、簡単に履くことができるから負担も少ないのが**介護靴**。外出用や自宅用など用途に応じてさまざまな種類の靴があります。オシャレなデザインのものも増えている**保護帽**は、もし滑って頭を打ったりしても衝撃を少なくしてくれます。

装着しやすく、ファッショナブルな帽子や靴がいろいろ!

# 体験してみて 考えよう! 認知症や介護のこと

疑似体験する  
認知症の症状を  
VRゴーグルで

視空間の失認症やレビー小体型認知症による幻視、認知症になった高齢者視点による物事の見え方などを、VRゴーグルを装着して体験できます。一般的にはどういったことが起きるのか知られないことが多い「認知症」への理解を深めることができます。※体験は13歳以上



車いすの操作や介助を  
実際に体験する

電動式や介助式、自走式などさまざまな車いすの操作や試乗を通じ、車いすによる介助方法や車いすが必要な方の状況を理解することができます。



疑似体験する  
高齢者の身体を  
重りをつけて

足や腕に取りつける重りや  
サポーター、視野が狭まる  
特殊な眼鏡などを装着し、  
加齢による身体的な変化を  
疑似的に体験。高齢者の気  
持ちへの寄り添い方や介護  
方法を考えるきっかけにな  
ります。

福祉用具展示コーナーでは、「なっていない人」にはどのように対処をしたら良いのかよくわからない認知症や、身体が以前のようには動かなくなってしまった高齢者の方々の気持ちや心情を理解するための体験することができます。

いずれも体験は無料ですので、お気軽にどうぞ。

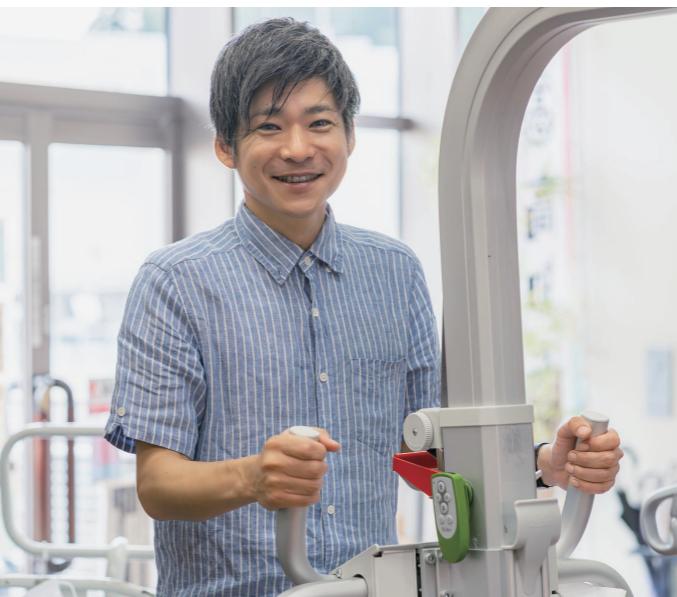
## INTERVIEW 高知ふくし機器展のこと

『県立ふくし交流プラザ』では毎年1回、『誰もが生活を快適で、豊かにできる福祉機器を幅広く知っていただくこと、どこに住んでいても、どんな状態であっても自分らしく生活できる高知県にすること』を目的に、「高知ふくし機器展」(以下機器展)を開催しています。この機器展の実行委員長を2010年から現在に至るまで15年間にわたり務めている二宮康公さんに想いをお聞きしました。

二宮「機器展」には、普段医療福祉現場で働くスタッフが企画や運営に関わり、県内外の福祉機器メーカーは当日の運営に携わっていて、お互いに情報交換をする貴重な場になっています。

自分たちが普段勤めている職場以外では、同じ職種の人や他職種の人と関わる機会が少ないため、機器展の場は様々なプロフェッショナルと関わることができ、刺激にもなっています。

機器展は今年で23回ですが、これからも福祉機器メーカーさんに協力をしていただきながら、高知県民の方が必要な情報を得られるようスタッフ一丸となって機器展を継続し、皆さんに「高知の機器展っていいよね。高知ふくし機器展があって良かった!」と思ってもらえるようにしていきたいです。



県立ふくし交流プラザ1F  
福祉用具展示コーナー  
高知市朝倉戸375-1 県立ふくし交流プラザ1階  
TEL.088-844-9271  
FAX.088-844-9411  
MAIL. kaigohukyu@pippikochi.or.jp

\*福祉用具の販売はありません。  
\*福祉用具の貸出は最長2週間まで可能です。

お気軽にどうぞ

第23回 高知ふくし機器展  
バリアフリー・フェスティバル

いすブースやおしりまわりブースなど14のブースがあり、それぞれのブースで普段医療福祉現場で働くスタッフや県内外の福祉機器メーカーのスタッフが機器の紹介や試用、相談に対応してくれます。  
令和8年1月23日(金)・24日(土)  
10時~17時(24日は~16時)  
場所:県立ふくし交流プラザ



四 万十市ではじめて開催!  
ふくし用具出張展示会  
in 四万十市

万十市で初となる「ふくし用具出張展示会」を令和7年6月に開催しました。当日は80名以上の来場があり、さまざまな福祉用具に触れていただくことができました。相談には「高知ふくし機器展」のスタッフが対応し、丁寧な聞き取りとその方に応じた助言をしました。来場者からは「幅広で展示会をしてくれて嬉しかった」というお声もいただきました。来年度以降も高知県内各所でふくし用具出張展示会を実施する予定です。



## 一般社団法人 りぐらっぷ高知

高知県高知市石立町55-5  
(地域活動支援センターぐらっぷる)  
電話番号:088-856-6604



開所時間は10時から15時で、土曜日は仕事を持つ方も含め利用者が多い傾向があります。利用者はプログラムの参加・不参加を自由に選べ、おしゃべりやゲーム、絵描きなど、自由に過ごすことができます。また、ニックネームの使用を推奨することで、誰が支援者で誰が当事者か分からぬよう対等な関係性を意図的に作っています。

### 地域に開かれた未来への展望

『りぐらっぷ高知』は、利用者自身が持つ「力」を活かし、利用者が講師となつた多様な関わり方を促進したいと考えています。また、障害福祉サービスの事業所ではあります。診断名のない人や一般的なメンタルヘルスも含めて、「生きづらさや居場所を求める人」なら誰でも使える場として、地域内で多様な人の交流が生まれる場所になりたいと願っています。



地域活動支援センターぐらっぷるの内装

# 高知県における 居場所と 支え合い



月に一度行う定例会の様子

## 特定非営利活動法人 こねくと高知

高知県高知市桜馬場5-8  
メール: info@koneko.or.jp  
電話番号:090-9646-9620



HP

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

『こねくと高知』は高知県内在住者を支援対象として活動しており、支援の特徴は、司法書士、不動産関係者、心理士、社会福祉士といった多様な専門職が関わって行ってるところです。この専門職のネットワークを活かし、相談者が複数の機関を渡り歩くことがないよう、「ワントップ」での対応を心がけています。



相談チラシ

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

今年6月、高知県在住の犯罪加害者家族の支援に特化した新たな団体『特定非営利活動法人こねくと高知』(以下、こねくと高知)が宮城県、大阪府に次ぐ全国で3つ目の専門団体として設立されました。代表の岩城慎人さんは、宮城県で犯罪加害者家族の支援を行う特定非営利活動法人World Open Heart主催の講演会で、生きづらさや困難を抱えながらも高知県内ではサポート体制がなく県外の支援団体に頼らざるを得なかつたケースが30件もあったことを知り、県内外に支援の受け皿を作る必要性を感じ、活動を開始させました。

『こねくと高知』では、支援を「する側」と「される側」に分けるのではなく、お互いがコミュニケーションを取り、支え合う関係性を築くことを目指しています。事件を起こした本人だけでなく、「一人ひとり人格をもつて、明日ある家族をどう支援していくか、どういふうに生活が落ちついていくか」を考え活動していくことが大切」との理念を大切にしています。

今年6月、高知県在住の犯罪加害者家族の支援に特化した新たな団体『特定非営利活動法人こねくと高知』(以下、こねくと高知)が宮城県、大阪府に次ぐ全国で3つ目の専門団体として設立されました。代表の岩城慎人さんは、宮城県で犯罪加害者家族の支援を行なう特定非営利活動法人World Open Heart主催の講演会で、生きづらさや困難を抱えながらも高知県内ではサポート体制がなく県外の支援団体に頼らざるを得なかつたケースが30件もあったことを知り、県内外に支援の受け皿を作る必要性を感じ、活動を開始させました。

ホットラインへの電話相談は主に代表の岩城さんが対応し、受けた相談内容はオンライン会議を通じて役員間で常に共有しています。これにより、担当者一人で問題を抱え込むことなく、各専門分野の知見に基づいた支援を目指しています。

『こねくと高知』では、支援を「する側」と「される側」に分けるのではなく、お互いがコミュニケーションを取り、支え合う関係性を築くことを目指しています。事件を起こした本人だけでなく、「一人ひとり人格をもつて、明日ある家族をどう支援していくか、どういふうに生活が落ちついていくか」を考え活動していくことが大切」との理念を大切にしています。

### 団体の支援を充実させるために

設立から間もないといふこともあり、本当に支援を必要としている人にしっかりと情報届けられるように認知度をより向上させたいと考えています。また相談すること自体にためらいがある人へのアプローチや、関係機関への周知も今後していく必要があります。

そのためにも、親しい人には言えない悩みを打ち明け、自分の言いたいことを整理できる「家族会(ビアカウンセリング)」の開催を積極的に行ったり、身寄りのない人の増加や親族関係の希薄化などの社会問題を意識した家族支援を心がけていきたいと団体の皆さんは語ります。

『こねくと高知』では、犯罪加害者家族を孤立させないために、今後も様々な取組に挑戦していきます。

# 高知県における 居場所と 支え合い

## 特定非営利活動法人 こねくと高知

高知県高知市桜馬場5-8  
メール: info@koneko.or.jp  
電話番号:090-9646-9620



HP

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

『こねくと高知』は高知県内在住者を支援対象として活動しており、支援の特徴は、司法書士、不動産関係者、心理士、社会福祉士といった多様な専門職が関わって行ってるところです。この専門職のネットワークを活かし、相談者が複数の機関を渡り歩くことがないよう、「ワントップ」での対応を心がけています。

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

今年6月、高知県在住の犯罪加害者家族の支援に特化した新たな団体『特定非営利活動法人こねくと高知』(以下、こねくと高知)が宮城県、大阪府に次ぐ全国で3つ目の専門団体として設立されました。代表の岩城慎人さんは、宮城県で犯罪加害者家族の支援を行なう特定非営利活動法人World Open Heart主催の講演会で、生きづらさや困難を抱えながらも高知県内ではサポート体制がなく県外の支援団体に頼らざるを得なかつたケースが30件もあったことを知り、県内外に支援の受け皿を作る必要性を感じ、活動を開始させました。

ホットラインへの電話相談は主に代表の岩城さんが対応し、受けた相談内容はオンライン会議を通じて役員間で常に共有しています。これにより、担当者一人で問題を抱え込まないことで、各専門分野の知見に基づいた支援を目指しています。

『こねくと高知』では、支援を「する側」と「される側」に分けるのではなく、お互いがコミュニケーションを取り、支え合う関係性を築くことを目指しています。事件を起こした本人だけでなく、「一人ひとり人格をもつて、明日ある家族をどう支援していくか、どういふうに生活が落ちついていくか」を考え活動していくことが大切」との理念を大切にしています。

ホットラインへの電話相談は主に代表の岩城さんが対応し、受けた相談内容はオンライン会議を通じて役員間で常に共有しています。これにより、担当者一人で問題を抱え込まないことで、各専門分野の知見に基づいた支援を目指しています。



月に一度行う定例会の様子

## 特定非営利活動法人 こねくと高知

高知県高知市桜馬場5-8  
メール: info@koneko.or.jp  
電話番号:090-9646-9620



HP

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

『こねくと高知』は高知県内在住者を支援対象として活動しており、支援の特徴は、司法書士、不動産関係者、心理士、社会福祉士といった多様な専門職が関わって行ってるところです。この専門職のネットワークを活かし、相談者が複数の機関を渡り歩くことがないよう、「ワントップ」での対応を心がけています。

### 「ワントップ支援」 多職種連携による

今年6月、高知県在住の犯罪加害者家族の支援に特化した新たな団体『特定非営利活動法人こねくと高知』(以下、こねくと高知)が宮城県、大阪府に次ぐ全国で3つ目の専門団体として設立されました。代表の岩城慎人さんは、宮城県で犯罪加害者家族の支援を行なう特定非営利活動法人World Open Heart主催の講演会で、生きづらさや困難を抱えながらも高知県内ではサポート体制がなく県外の支援団体に頼らざるを得なかつたケースが30件もあったことを知り、県内外に支援の受け皿を作る必要性を感じ、活動を開始させました。

ホットラインへの電話相談は主に代表の岩城さんが対応し、受けた相談内容はオンライン会議を通じて役員間で常に共有しています。これにより、担当者一人で問題を抱え込まないことで、各専門分野の知見に基づいた支援を目指しています。

# つながる、ひらがる、セカンドライフ。シニア世代の いい話と ちよつと たくさん笑ってたくさん食べる居心地の良さ

シニア世代の皆さんのが生きがいのある  
セカンドライフを送るために参考となるよう、  
県内ていきいきと地域活動をされている  
皆さんをご紹介します。



年齢を問わず、和気あいあいと皆で楽しむ



PLAT FUKUSHI KOCHI シニアのちよつと

## チチナロの会 大豊町

たくさん笑ってたくさん食べる居心地の良さ

### 仲間が仲間を呼ぶ、楽しい食事会

今から約8年前、代表を務める小松恵子さんの「ちょっと集まってお茶でも飲まんかね~」という一声から始まったのが、大豊町の山間にある津家地区で月に1度近所の人々と食事会をする『チチナロの会』。はじめた頃は4、5人だった会員は現在11人になっています。

食事会の準備は朝の8時頃から、調理係を務める会員が食材を持ち寄って調理をはじめます。取材に訪れた日は五目御飯に鮎の塩焼き、ミョウガのお汁など色とりどりのメニューで、ご飯を炊く係、汁物をつくる係、鮎を焼く係などそれぞれが役割分担し、手際よく調理がされてゆく。お米は昔ながらの手法で「羽釜」で炊き上げており、「もし災害が来ても、羽釜なら米が炊ける安心よ!」と小松さん。



### 楽しい「居場所」の大切さ

いよいよ食事ができあがるお昼どきになると、食事会がスタート。箸で料理をつつきながらもメンバーそれぞれからさまざまな話が飛び出し、笑い声が止まることはありません。会の参加者に感想を聞くと、料理の感想よりも先に「みんなの話が楽しくて、一ヵ月分笑うた!」という声が出てくるほどで、そんな楽しさをみんなでお裾分けと言わんばかりに新しい仲間がまた新しい仲間を呼びこみ、来客者がどんどん増えているのだといいます。今では、フレイル予防活動を実施するサポートや脳梗塞当事者の集いのグループや大学生、大豊町役場の職員も集まつくる会に発展し、これまで一番多い日には20人もの人々で食事をしたこともあるのだとか。

急激な過疎が今も進んでいる大豊町で、メンバーの誰もが和やかに楽しく過ごせる居場所があること、そしてこの居場所が地域住民だけでなく地域の外にも繋がっているということは、とても貴重で価値があるものだと感じました。代表の小松さんは「皆でこれからも元気におるために、活動を続けて今後もみんなで集まれるようにしていきたい。」とハッタツとした笑顔で話をしてくれました。

## みんなでイキイキ麻雀 高知市

気楽に通える居場所づくりを目指して

### 高齢男性の孤立や閉じこもりを防ぎたい

高知市西部の住宅地である福井・横内エリアでは、高齢男性の孤立や閉じこもりといった地域課題が顕在化していました。それを解決するための《男性の居場所づくり》を高知市社会福祉協議会や旭街地域包括支援センターなどで協議を重ねていたところ、地域住民から上がってきたのが「麻雀がしたい!」との声でした。

こうした流れを受け、麻雀に詳しい北村公一さんに活動の場づくりについての依頼があり、同じように地域で活動していた初対面の2名とともに毎週金曜日に麻雀と交流を楽しむ『みんなでイキイキ麻雀』を2024年8月に発足。高知北環状線沿いにある老人ホーム「福寿園 元氣ふれあい館」で活動を始めると、参加希望の相談があちらこちらから入るようになりました。発足からわずか1年足らずで30名ほどの会員が集まるようになりました。

### 認知症予防も期待できる居場所づくり

男性の居場所づくりを目的に始めた『みんなでイキイキ麻雀』ですが、女性メンバーも10名ほど所属しますます賑やかになっています。麻雀を知らない人が参加した場合でも、先輩メンバーたちが丁寧にルールを教え、楽しく和やかに活動しているそうです。

そもそも麻雀は頭や手先を使うゲームであり、脳の活性化や認知症予防が期待できます。手役や点数など覚えることも多く、記憶力の向上にも繋がります。自分以外のプレイヤーの手牌を想像し、また相手にも自分の手牌を想像させる「駆け引き」も醍醐味のひとつです。



### 会費無料! いつでも参加OK!

北村さんはメンバーの居場所づくりのために活動を継続することが何より大切と考えています。

「毎回参加していた方が数回休むと、なんとなく参加しづらい気持ちになり、そのまま退会してしまう」という話をよく耳にします。でも、『みんなでイキイキ麻雀』では気にすることは全くありません。『お久しぶり!』と、みんな笑顔で大歓迎です。ぜひ、おいでください。ここは、「みんなで麻雀ゲームを楽しもう!」をモットーに《いつでも参加OK!》、《休みも自由!》、《途中から参加、途中で帰るのも大丈夫!》。小さなことは気にせず、とにかく麻雀ゲームを楽しむ場所の提供を心掛けています。」と話してくれました。

また、メンバーも北村さんの考えに共感し、懐かしの歌謡曲をBGMとして流し、他のメンバーが気軽に口ずさみながら麻雀を楽しむなど、誰もがいつでも自由に参加できる環境づくりに余念がありません。

メンバーの皆さんに話を伺うと、「毎回楽しく参加でき、活動日がある週末が待ち遠しくなります。たとえ負けても上手なプレイは仲間同士で褒め合っています。」とのこと。

北村さんに今後の活動方針などについて伺うと、「会費は無料で、メンバーは温かい方ばかり。初心者も経験者も楽しく過ごせるので、多くの方に遊びに来てもらいたいです。ほかの地区的健康麻雀グループとの交流会などができたら面白いと思っています。」と笑顔で活動をアピールしてくれました。



# プラットuchi

VOL.14

## 中島匠一さん (32) 高知にかける夢 芸術と技術で紡ぐ

株式会社ブランド高知 代表取締役社長



日本語や漢字をカリグラフィー用いアレンジした「高知」の文字を全面にデザインし、文旦やバイカオウレンなどを思わせる鮮やかな色を取り入れるなど、「高知」を意識せずにはいられないユニークなアイテムとして躍進した「高知の財布」。その仕掛け人が(株)ブランド高知を率いる中島匠一さん。高知の人たちが持つ隣人愛や人柄、自然に育まれた自由な気風といった魅力を全国に発信しようと立ち上げた会社だ。

「高知の化粧水」は、敏感肌体质の中島さん自身がブランドエキスやセラミドなど900種類以上の成分を試し構成から2年の歳月をかけて作り上げた力作だ。こうした中島さんの情熱と丁寧なものづくりは、商品を手にする人々の心にも深く響いている。過去にポップアップストアを出展した際には、お客様から思いがけない言葉をかけられることもあつたという。自分で叶えられなかつた、高知の良さを全国に広める(PRする)夢を中島さんが代わりに実現してくれ

## 高知県社協からのお知らせ

SHAKYO INFORMATION

### 高知県競馬組合様から寄付金をいただきました!

高知県競馬組合から令和4年度以降、毎年売り上げの一部を高知県社会福祉協議会に寄付いただいており、今年度も35,000千円の寄付金をいただきました。

高知県社会福祉協議会では寄付金を地域福祉活動への支援や災害時のボランティア活動の支援等に活用する予定です。



#### 寄付にあたって

高知県競馬組合 管理者 合田和穂 様  
「地域福祉の推進に取り組む貴会の活動に賛同し、寄付をさせていただきます。活動の趣旨に沿って有効にご活用いただき、災害ボランティア活動支援や障害者スポーツ振興の一助となれば幸いです。」

[寄付団体]高知県競馬組合(高知市長浜宮田2000番地)

[寄付額]35,000千円

[寄付金贈呈の趣旨]地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の推進および災害ボランティア活動の支援

#### [寄付金の活用方法]

##### (1)持続可能な地域づくり推進事業

NPO等を対象に地域福祉活動やSDGsを推進する活動等に対して助成します。

##### (2)災害ボランティア活動支援事業

被災者の生活再建を支援するために被災地の社会福祉協議会を中心に設置される災害ボランティアセンターで活動に必要な資機材等の整備に要する経費について市町村の社会福祉協議会に助成します。

##### (3)障害者スポーツ振興事業

共生社会の実現に向けて、障害者の自己実現、社会参加を促進するためパラスポーツ競技等の備品整備に対して助成します。

[問合先]高知県社会福祉協議会

ボランティア・NPOセンター

TEL:088-850-9100

E-mail:kvnc@pippikochi.or.jp

### ふくし就職フェアでお仕事さがし!

高知県内の福祉事業所が一堂に介する、福祉関係の仕事への就職を希望される方(新卒者・他分野からの転職希望者・再就職希望者等)向けの相談会です。

[開催日]対面:令和8年2月14日(土)

WEB:令和8年2月19日(木)~21日(土)

[場所]高知市文化プラザかるぽーと

高知市九反田2-1

[問合先]高知県福祉人材センター

TEL:088-844-3511

E-mail:jinzai@pippikochi.or.jp

### 第54回高知県オールドパワー文化展を開催します!!

高知県内在住の60歳以上の方を対象に、芸術や文化に親しむことで生きがいや仲間づくりを図ることを目指し毎年開催されている「オールドパワー文化展」。思いの詰まった作品が披露されることを励みに、毎年たくさんの方々が出品されています。詳細については、(株)高知新聞企業ホームページをご覧ください。

[開催日]令和8年3月12日(木)~17日(火)  
午前9時~午後5時(初日は午前10時から、最終日は午後3時まで。)

[場所]高知県立美術館 高知市高須353-2

## 令和7年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索



老人福祉施設、  
障害者支援施設、  
児童福祉施設などに  
スケールメリットを活かした割安な保険料で  
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である  
社会福祉法人等が運営する社会  
福祉施設です。

### ① 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

#### ① 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額	
賠償事故	基本補償(A型) 見舞費用付補償(B型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円 2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円 2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円 200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円 20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円 1,000万円
身体・財物の損害を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円 1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円 2,000万円
お見舞い等	
事故対応特別費用(期間中)	500万円 500万円
被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度 1事故10万円限度
	死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円
	傷害見舞費用

保険期間 1年

▶年額保険料(掛金)	
補基本 A型	見舞費用 付 補償 保険料
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以上1名~10名増ごと	1,500円

【見舞費用加算】

定員1名あたり  
入所: 1,300円  
通所: 1,390円



### ② 施設利用者の補償

### ③ 職員等の補償

### ④ 法人役員等の補償

●このご案内は概要を説明したもので、詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

#### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除きます。)

#### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日・年末年始を除きます。)

(SJ24-11108より抜粋)



## こうちの sweet なハナシ

社会福祉施設スイーツ図鑑



(社福)さんかく広場  
就労支援 B型事業所『さんかく広場』  
高知県高知市和泉町15-16  
TEL:088-822-2523(担当:太田)

## 野いちごの場所

高知市高須の電車通り沿いにある、赤いテントが目印の『野いちごの場所』。まだアレルギーに対応するお店自体が珍しかった30年前のオープン以来、「アレルギーを持った人でも安心して楽しめるお菓子を」との思いのもと、できる限り地元高知の食材を使った卵や乳製品・大豆不使用のお菓子づくりに一貫して取り組んできました。

着色料などの添加物などももちろん一切使っていないので、どのお菓子もかめばかむほど口いっぱいに素材本来の優しい味が広がります。最近登場したばかりの「米粉クッキー」は、高知県産の米粉をたっぷりと使った一品。お客さんたちからグルテンフリーのクッキーをぜひ作ってほしいという声を元に、長いあいだ試行錯誤を重ねながらつくりあげました。



(社福)土佐あけぼの会  
障害福祉サービス事業所  
『野いちごの場所』  
高知県高知市高須本町5-32  
TEL:088-880-4830(担当:松岡)

## さんかく広場

「売りやすい・買いややすい・食べやすい」をコンセプトに高知市和泉町にある『さんかく広場』が目指しているのは、また食べたい!とお客様に思ってもらえるようなパンやお菓子をつくること。パウンドケーキひとつをとっても、夏は手作りのレモンピールを使ってさっぱりとした風味に仕上げ、甘いものが食べたくなる冬にはキャラメル味に仕立ててみたりと、季節ごとにしっかりとした変化をつけています。

さんかく広場では、県立春野高校とコラボ商品を作ったり、ご当地限定のお菓子セットを県内的一部道の駅などで販売しています。お菓子やパンを通じて地域と繋がりを築き、地域にとって親しみのある事業所です。



## 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

高知市朝倉戸375-1 県立ふくし交流プラザ内  
TEL.088-844-9007 / FAX.088-844-3852  
E-mail plaza@pippikochi.or.jp

<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/>

### ふくし交流プラザへの交通のご案内

[お車でお越しの方] 高知駅より車で約20分、高知 IC より車で約30分、伊野 IC より車で約15分、高知龍馬空港より車で約50分。  
駐車場: 普通乗用車で約180台駐車できます  
[公共交通機関でお越しの方] 最寄りバス停「朝倉第二小学校前」下車すぐ

